

事務事業評価表（建設事業等）

評価対象年度	平成 30 年度
1次評価日（主幹等）	31年 3月 31日
2次評価日（課長等）	31年 3月 31日

1 事業名	都市公園整備事業		コード	153205	
2 担当部課	部等	建設水道部	課等	土木課	
	作成者	福沢 武雄			
3 事業概要	目的体系	基本目標	快適に生活できる、都市機能の充実したまち		
		政 策	都市空間の充実	施 策	公園の整備
		予算科目	都市公園整備事業費	業務委託	一部委託
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	あり

●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	* 対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
事業の概要 （簡潔に）	都市公園施設の安全確保と維持管理費の節減を目的に策定した公園施設長寿命化計画に基づいて、誰でも安全で安心して利用できる公園整備を推進する。	
目的	対象者	市民
	意 図	公園施設長寿命化計画に基づいて、誰でも安心して安心して利用できる公園整備を推進する

5 事業の必要性	* 事業を計画した当時、この事業が必要になった状況・理由
公園施設の老朽化に伴い、安全・安心の確保と維持管理の経費節減と計画的な支出が必要である。	

6 事業の全体計画	* 各年度の取組計画		
予定全体事業費	306,000,000 円	事業期間	現計画：平成22年度から平成30年度
28年度まで	公園施設長寿命化計画に基づく公園施設管理及び整備		
29年度	公園施設長寿命化計画に基づく公園施設管理及び整備		
30年度	公園施設長寿命化計画に基づく公園施設管理及び整備		
31年度以降	次期公園施設長寿命化計画の検討・策定、計画に基づく公園施設管理及び整備		

7 事業の実施内容	* 各年度の進捗状況	
28年度まで	<ul style="list-style-type: none"> 岡谷湖畔公園 : 大型遊具更新工事 鳥居平やまびこ公園 : 溪流広場更新工事、リフト制御盤、運転棟更新工事 木道更新工事、園路更新工事、大型すべり台他更新工事、園路改良工事 	
29年度	<ul style="list-style-type: none"> 鳥居平やまびこ公園 : 管理棟屋根、水車小屋更新工事 	
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 鳥居平やまびこ公園 : ドッグラン更新工事 岡谷湖畔公園 : 遊具更新工事 	
前年度の課題への対応	国の交付金を活用しながら、計画的に公園施設の更新工事を実施した。	

8 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	28年度まで(累計)	29年度	30年度	31年度(予算)
① 直接事業費	171,460,090	20,088,000	20,390,400	0
経常経費				
臨時的経費	171,460,090	20,088,000	20,390,400	0
* 臨時的経費の説明				
② 人件費		5,600,000	5,600,000	0
正規職員の人数(人)		0.70	0.70	
③ 合計コスト(①+②)	171,460,090	25,688,000	25,990,400	0
前年度比			101.2%	0.0%
財源				
一般財源	14,593,090	6,688,000	6,990,400	0
内訳				
特定財源	156,867,000	19,000,000	19,000,000	0
* 特定財源の説明				

●事業の評価 (CHECK)

9 事業の進捗状況

区分	28年度まで(累計)	29年度	30年度	31年度(予算)
進捗率				
直接事業費の執行率	56.0%	62.6%	69.3%	
その他の進捗率				
* その他の進捗率の説明				

事業をとりまく環境変化	今まで	(これまでに生じた政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業に影響があったこと) 安全・安心のための公園整備と経費削減のため「岡谷市公園施設長寿命化計画」に基づき、この交付金を活用して計画的に更新工事を実施してきた。
	今後	(31年度以降に予測される政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業の進行・完了に影響すると思われること) 30年度までは交付金を活用して計画的に行なった。 今後は次期公園施設長寿命化計画を策定し、国の補助事業の要件等も注視しながら補助採択を受けながら計画的に実施したい。

●改善の内容 (ACTION)

10 今後の課題と対応策

今後の課題	(環境変化を考慮して事業を進めていく上で、31年度以降に課題になること) 効果的な実施計画が必要であるとともに、現在の交付金の対象外である施設についても計画的な維持管理と財源確保を図りながら整備をして延命を図る必要がある。
課題への対応策	(上記の課題をふまえて31年度に実施する、具体的な対応方法) 公園ごとに国の制度、採択要件の改定に対応した更新、修繕の計画を策定するとともに、公園施設のこまめな点検と維持補修等を行なう。

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---